

すがわら進 News

川崎市会議員

小さな声を 大きな力に

すがわら進ニュース 第137号

発行者：公明党川崎市議団
発行人：菅原進
住 所：川崎市多摩区登戸3095
電 話：044-933-2043
印刷所：光明印刷
(幸区塚越4-345-105)

ずっと住み続けたい「多摩区」を創りたい。
それが「すがわら進」の夢です。



“理科授業に専科教員制度導入を検討”

平成23年第3回定例会（6月議会）

「すがわら進」議員は7月5日に行われた一般質問で5項目を質問、代表質問では2項目を担当しました。

●一般質問

5項目の質問を担当

行財政改革の推進

国が進めている社会保障と税の一体改革については、地方の意見を踏まえたものにするよう、市長が国に働きかけることを要望。

南武線の輸送力の増強

人口増により、ラッシュ時は大変混雑。快速電車の増発や車両の増結を行うなど輸送力の増強をはかり、混雑緩和と利便性向上を要望。



●代表質問

2項目の質問を担当

小学校の英語教育

10万名の署名運動により平成23年4月から小学生の5、6年生を対象に実施。

ただし、1年生から4年生の英語活動には各学校で内容に格差があり、その是正を要望。

子供達の理科ばなれ対策

理科の実験を手伝う理科支援員配置事業に地域人材の活用と、横浜国立大学との連携で理科教育のリーダーを養成するよう要望。



多摩川の利用計画

(1)多摩川の河川水の放射能汚染の測定を早急に実施することを要望。これに対して、7月13日に多摩川の3箇所測定が行われ安全が確認されました。

(2)多摩川の水族館の実現。

①青少年科学館に平成24年春には、映像による多摩川に関する情報発信拠点の実現へ。②サテライト型水族館としては、中流域の「ニヶ領せせらぎ館」と下流・河口域の「大師川原防水センター」に水槽を設置。③源流・上流域は他都市の交流連携を進める。

(3)生田浄水場の再構築に合わせ、水を利用した公園と多摩川のジオラマを作るよう要望。

(4)東日本大震災の被災者を支援している「おさかなポスト」の活動に対する助成事業の拡大。



質問に立つすがわら進議員

実現しました

登戸駅前広場に喫煙場が設置

3年前に登戸駅周辺が禁煙地域となりましたが、喫煙場所がありませんでした。

喫煙者と警備員の方達とのトラブルがたえず、早急な喫煙場所の要望がありました。課題は多くありましたが、各関係者との協議を進め、平成22年12月に登戸駅前広場に喫煙場所ができました。



▲完成した登戸駅前広場の喫煙場

長尾橋の交差点に歩行者専用の信号機が設置

歩行者専用の信号機が長尾橋の交差点に、平成23年3月に設置されました。

この交差点を利用するお母さん方から7年前に要望があり、まず交差点にオレンジポールを設置し、本年3月10日に信号機の実現となりました。

◀完成した長尾橋交差点の信号機

小水力発電で年間120万キロワットとCO₂ 460万トンを抑制

科学技術の振興

(1)中学生の副読本である「川崎サイエンスワールド」は、本市にある世界に誇る先端科学技術を紹介しており、更に地域の教育資源の積極的な活用や小学生版の作成を要望。

(2)本市で実験的に行われてきた世界最先端の「スマートコミュニティ」と「スマートグリッド」は世界の市場規模が約6兆円。今後更に世界への普及推進にむけた支援を要望。

(3)再生可能なエネルギーとして、水力・バイオマス・太陽光・風力発電などを上下水道事業においても推進。特に小水力発電の活用で年間約120万キロワットを供給でき、約460トンの二酸化炭素の発生を抑制できると指摘。



高度医療産業のライフサイエンス分野での特区申請

臨海部の活性化

(1)臨海部にある基幹的広域防災拠点は、東日本大震災の際に、被災地への緊急物資の輸送などに大きく貢献。

(2)国際コンテナ戦略港湾政策で、被災した東北各港と川崎港を結ぶ内航輸送を全面的に支援するように要請。

(3)ライフ・イノベーション(生命科学)とグリーン・イノベーション(環境対策)を促進する「国際競争拠点」が設立され、総合特別区域法に基づきライフサイエンス分野で神奈川県、横浜市、川崎市が連携して特区の申請を準備。東京・大田区の参加などを求め、広域的に一体で進めることを要望。



市議会議員

すがわら進

暮らしの110番

市民相談
お気軽に!

控入室

電話：044-200-3361

自宅

電話：044-933-2043

FAX：044-933-1950

すがわら進のホームページをぜひご活用ください!

URL

<http://www.susumu-news.com>

E-mail

susumusumu@muf.biglobe.ne.jp

すがわら進の
プロフィール

●昭和22年 秋田県生まれ ●海城学園中等部・高等部、中央大学法学部卒 ●デンマークの船会社に18年間勤務
●川崎市議会議員に4期連続当選 ●公明党党本部中小企業活性化対策本部委員、県本部幹事、川崎総支部連合副会長、
多摩第2支部長 ●川崎市議団団長 ●中央大学学員会幹事・中央大学評議委員 ●海城学園海原会常任幹事